

令和 8 年 3 月 27 日
消防庁消防大学校

「消防大学校における教育訓練等に関する検討会報告書」の公表

消防大学校では、令和 7 年 10 月から「消防大学校における教育訓練等に関する検討会」を開催し、今般、報告書を取りまとめましたので公表します。

1 検討会概要

人口減少と少子高齢社会が進展し、自然災害が頻発化・激甚化している等、消防を取り巻く環境が大きく変化している中であって、新たな時代を担う幹部を育成していくため、これからの消防大学校における教育訓練等のあり方について検討を行いました。

2 検討結果

(1) 報告書の全文は、消防庁ホームページに掲載します。

(URL : https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-185.html)

(2) 報告書の概要は、別紙のとおりです。



【連絡先】
消防庁消防大学校庶務課
TEL 0422-46-1711

目的等

【目 的】

消防を取り巻く環境の変化等を踏まえ、これからの消防大学校における教育訓練等のあり方を検討

【開催実績】

第1回：令和7年10月16日 第2回：令和7年12月24日 第3回：令和8年2月27日

【検討項目】

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 成果指標の見直し | 3 教育訓練を支える基盤の整備と高度化 |
| 2 時代に即した学科・コースの展開 | (1) 教育訓練の高度化のための設備等の整備 |
| (1) 幹部教育の見直し | (2) 宿泊研修施設として必要とされる機能等の強化 |
| (2) 緊急消防援助隊教育の充実強化 | 4 都道府県消防防災部局・消防学校との連携 |
| (3) 消防分野における女性の活躍促進 | (1) 研修への参加実績が少ない消防本部への対応 |
| (4) 時代に即した先進的分野等の講義の展開 | (2) 消防団幹部に対する教育訓練体制の充実 |

委員

上田 伸次郎	(一財)東京消防協会理事長
大塚 大輔	消防庁総務課長
岡本 優司	山梨県消防学校長
金子 裕一郎	東京消防庁消防学校長
下重 美佐男	(公財)日本消防協会業務部長
瀬川 浩樹	盛岡地区広域消防組合 消防長
田中 雄章	消防庁消防・救急課長
千葉 周平	消防研究センター研究企画部長
西本 和人	和歌山市消防局長
道園 由紀	福岡県消防学校長
宮川 江美	千葉県防災危機管理部消防課長
吉田 悦教 ★	千葉経済大学経済学部特任教授

(敬称略・五十音順・★印は座長)

提言の概要



1 質を重視した成果指標への転換

➡ 指標を教育の「量」から「質」へ転換し、2つの分野（能力向上及び人的ネットワーク構築）の度合を2つの方向（卒業生及びその上長）から測定

2 教育体系の再構築と高度化

- (1) 幹部教育の質的充実 ➡ 幹部科における年度当たりの開催回数の縮減と教育時間の拡充 / 組織力や消防体制の向上に係る講義の充実
- (2) 緊急消防援助隊の指揮・運用能力の育成・強化 ➡ 実務講習（コース）から学科への格上げ / 教育時間の拡充
- (3) 女性の研修参加機会の拡充 ➡ 女性消防吏員の研修参加機会の拡充 / 教育時間の拡充
- (4) 新技術活用への教育、分野横断的な講義等の充実

➡ 各分野に係る講義の充実・展開

①新技術に係る分野 / ②組織の活性化等に係る分野 / ③外国人対応に係る分野 / ④消防団を中核とした地域防災力の充実強化に係る分野

3 設備・施設の充実に向けた取組

➡ ①最新の次世代型実火災体験型訓練設備等の導入 / ②防火衣除染の専用設備の整備 / ③宿泊施設（学生寮）の収容力の増強等

④ユニバーサル化の視点の取入れ（バリアフリー化の推進を含む）

4 都道府県消防防災部局・消防学校との連携

➡ ①消防大学校・都道府県消防防災部局・消防学校の三者連携による消防本部に対する入校の働きかけ

（オンラインの活用を含む積極的な意見交換の場の構築） / ②消防大学校が有する情報の整理・発信ツールの整備等を通じた知見の共有

③現任教官科、新任教官科等における教育訓練の充実を通じた消防団幹部の育成